

発行所 千葉県立国府台高等学校 同窓会 広報委員会 千葉県市川市国府台 2-4-1 発行責任者 加藤徹(18期・会長) 印刷所 メールカスタマーセンター



konodai.net



歴史と伝統を未来へ！

2023年は母校創立80周年

千葉県立国府台高等学校は、旧制市川市立中学校として一九四三年開校。以来、歴史と伝統を重ねて来たが、コロナ禍により、授業はもとより、学校行事や課外活動も通常通り実施できない状況に陥った。対応措置は既に三年に及び、例えば、現役の在校生の中に「完全な」鴻陵祭を経験した者が一人もいない。前例踏襲で進めることは万事において困難だ。難局と対峙しつつ時世に即した伝統継承の道を探る八十周年。歴史の結節点となることはもちろん、転換点ともなりそうだ。

記念祝賀会

コロナ禍終息の見通しは不透明なもの、同窓会は創立八十周年記念行事を挙行することとし、二〇二〇年、八十周年記念事業準備委員会を立ち上げ、企画立案を進めてきた。

基本的にはこれまでの周年事業で実施されたパティーستاイルの『祝賀会』を軸に検討。ただし、飲食中心に若干の余興が入るといった内容では、同窓会の周年記念行事相応の魅力に欠けるとの指摘があるため、

求む！人材

同窓会では、記念事業の企画運営にあたる人材を切実に求めている。事業の運営全体に携わっていただけない方も、可能な範囲で、内容によってはオンラインで、協力を仰ぎたい。多数の会員の協力を願う。問い合わせは、メール・SNSのDMで。



千葉県立国府台高等学校創立80周年記念祝賀会

期日 2024年2月17日 土曜日
会場 山崎製パン総合クリエイションセンター

イベントととしての内容充実が求められる。既に期日と会場が別掲

夢を大切に

校長 白井 武彦



本年四月に第二十六代校長として着任いたしました

した白井武彦と申します。よろしくお申し込み申し上げます。

日頃より同窓会の皆様には、本校の教育活動に対し、多大なる御支援・御協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度、学校教育目標

を「豊かな人間性を育み、グローバル社会をリードする人材の育成に努める」とし、教育活動に取り組んでおります。

令和四年度が始まり約二か月ですが、生徒は、授業に落ち着いて臨み、また、部活動・学校行事等に積極的に参加しております。

日頃より、生徒に夢を持つことの大切さを話し

ております。夢の実現には、目標を立て、自主的・主体的に粘り強く取り組むこととなり、日々の生活をとて充実したものにし、自分自身を大きく成長させることができま

すので、是非、夢を持ち、実現に向けて取り組んでほしいと願っています。

本校は昭和十八年に開校し、来年令和五年に創立八十周年を迎えます。

《紙面から》

8 7 6

創立八十周年記念企画

踏跡

国府台高校80年

インタビュ

「現役生に訊く、昨年と今年の鴻陵祭」

おえまですか？

萩倉 良先生(社会)

学校・PTA・同窓会三者 創立80周年記念事業実行委員会

学校・PTA・同窓会の三者による創立八十周年記念事業実行委員会(以下、実行委)が発足、活動を開始した。同窓会選出の委員は、加藤会長、藤原副会長、高橋理事長、榎本会計、村越常任理事。二〇二二年七月二十七日の第一回実行委では、

委員長 加藤同窓会長、副委員長 堀米PTA会長、菊込校長、会計 堀事務局長、事務局 後藤総務部部長の役員選出と、『記念式典』『記念誌』『記念品』三部会の設置などを決定。ここにいう『式典』は学校主体のもので、同窓会

二〇二二(令和四)年度定例総会

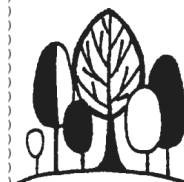
二〇二二(令和四)年度定例総会は五月二十二日母校会議室にて開催された。加藤徹会長の挨拶、四月着任の白井武彦校長から母校の近況報告を兼ねた挨拶があった。星野茂氏(三十期)が議長に選任され、議事に移った。討議された議案の『二〇二二年度事業報告』『二〇二二年度決算報告』『二〇二二年度事業案』『二〇二二年度予算』はいずれも原案の通り承認された。

【関連記事二・三面】 続いての懇親会は、コロナ禍の影響により飲食を伴わない、『八十周年

現在、事業全体の枠組みと各部会担当の事業内容を固める作業に入っているが、三者それぞれの想定する内容に齟齬があるため、情報共有と認識の共通化を急いでいる。記念事業の費用は、同窓会とPTAでの分担となり、同窓会は一〇〇万円を拠出する方向である。



アルスの森



子供と大人

二〇二二年四月、改正民法の施行により成年年齢が十八歳に引き下げられた。高校生は最終学年の年度末までに、つまり新同窓会員として歩み出すまでに、成年に達することになる。成年に達すると、親権による同意なしに法律行為が可能——学校現場に於ける生徒の意思決定へのあるべき対応について社会的論議が続いている——となり、事理弁識能力を獲得したと見做され、「子供だから」という抗弁の余地を喪失する。新成人に限らず、「大人」に伍して行くには、自分自身を正確に査定できなければならぬ。時代や情勢が変われば、ひと自身につけた知識や経験の陳腐化はもちろん、倫理観道徳観の動揺もある。査定に用いる基準そのものも、適正かつ実際に適用可能なものでなければならぬ。

自分が採用している基準の確認と補正には、尺度を照合できる関係の人物との交流が不可欠だ。交流の仲媒としての機能を「大人の集まり」同窓会に期待したい。

2022(令和4)年度 定例総会議事

2021(令和3)年度 一般会計決算報告

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 収入済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 会費, 前年度繰越金, 特別会計より, 雑収入, 賛助金, 計.

2022(令和4)年度 一般会計予算

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 会費, 前年度繰越金, 雑収入, 賛助金, 計.

2.支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 支払い済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 運営費, 母校支援費, 委員会活動費, 鴻陵祭, 会報封入発送, 事業費, 特別積立, 予備費, 次年度繰越金, 計.

2.支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 運営費, 母校支援費, 委員会事業費, 鴻陵祭, 会報封入発送, 特別積立, 事業費, 予備費, 計.

2021(令和3)年度 特別会計決算報告

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 収入済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 積立金, 雑収入, 賛助金, 計.

2022(令和4)年度 特別会計予算

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 積立金, 雑収入, 賛助金, 計.

2.支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 支払い済み額, 予算超過額, 摘要. Rows include 次年度繰越金, 計.

2.支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 80周年記念事業特別会計ハ, 次年度繰越金, 計.

80周年記念事業特別会計予算

…… 2022年度に新規開設されました。

1.収入の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 特別会計より, 雑収入, 賛助金, 計.

2.支出の部

Table with 5 columns: 項目, 予算額, 前年度予算額, 前年度との差額, 摘要. Rows include 80周年記念事業費, 次年度繰越金, 計.

2021(令和3)年度 事業報告

本部
母校支援
部活動遠征等支援
課外活動壮行奨励制度 【詳細3面参照】
鴻陵会表彰 【詳細3面参照】
その他 生徒会助成等
会報全会員送付・賛助金募集
2021年10月に会報40号を発行
全会員に送付し、あわせて賛助金を募集
鴻陵祭展示
※コロナ禍の影響により鴻陵祭一般公開中止
同窓会参加も中止
その他
第76回入学式(2021年4月)
第74回卒業式(2022年3月)
※コロナ禍の影響により来賓は不参加
同窓会入会式・鴻陵会表彰表彰式
※コロナ禍の影響により学校が代理実施

80周年記念事業準備委員会

80周年記念事業に関する準備・検討
学校側やPTAとの創立80周年記念事業実行委員会
発足 2回の実行委員会に参加
第1回 2021年7月27日
第2回 2021年12月16日

2022(令和4)年度 事業案

本部
母校支援
部活動支援
課外活動壮行奨励制度
上位の地方大会(関東大会等)全国大会に
進出した団体の支援
鴻陵会表彰
受賞者に賞状と副賞(記念品)を授与
その他
生徒会助成、生徒会との意見交換等
コロナ禍における在校生支援の仕組みの検討
会報全会員送付・賛助金募集
2022年7月に会報41号を発行
全会員に送付し、あわせて賛助金を募集
鴻陵祭展示
コロナ禍等の状況が許せば参加
参加不可の場合も同窓会としてのコミットを
その他
学校行事等への役員出席など
※コロナ禍の影響により未定

2023(令和5)年度 定例総会

5月28日 日曜日 午前10時
於 国府台高校

広報委員会

会報(第41号)の編集・発行
WEBサイト・SNSアカウント・動画サイト等の
管理運営

個人情報管理委員会

同窓会入会フォームを基に新卒会員(74期生)
の登録
会報の発送先の精査
各期理事を通じての調査
個人情報保護法対策
会員台帳管理方法の改善

80周年記念事業準備委員会

80周年記念事業に関する準備・検討
学校側PTAとの創立80周年記念事業実行委員会
での検討
80周年記念 国府台高校ロゴ募集
80周年記念同窓会公式WEBサイトリニューアル

サークル活動

旅行部
同窓生による旅行の実施

広報委員会

会報(第40号)の編集・発行
WEBサイト・SNSアカウントの管理運営

個人情報管理委員会

同窓会入会票を基に新卒会員(73期生)の登録
会報の発送先の精査
個人情報保護法対策
会員台帳管理方法の改善

部活動情報

ボート

◎全国ボート選手権大会

女子 ダブルスカル 準々決勝進出
男子 ダブルスカル 準々決勝進出 シングルスカル 出場

○関東高校選抜ボート大会

男子 ダブルスカル 決勝進出5位入賞 シングルスカル 準決勝進出
女子 シングルスカル 準決勝進出 ダブルスカル 出場

フェンシング

◎全国総体フェンシング大会

男子 フルーレ出場 女子 フルーレ出場

○関東高校フェンシング大会

男子 フルーレ出場 女子 フルーレ4位

水泳

○高校総体関東大会

100m平泳ぎ 出場 200m平泳ぎ 出場
千葉県新人水泳大会
100m平泳ぎ 2位 200m平泳ぎ 2位

サッカー

千葉県サッカー新人大会
出場権獲得

バレーボール

千葉県バレーボール新人大会
女子 出場権獲得

バスケットボール

千葉県バスケットボール新人大会
男子 出場権獲得

ソフトテニス

千葉県総体ソフトテニス競技
個人戦ベスト16

弓道

千葉県総体弓道競技
男子個人5位

剣道

千葉県剣道新人大会
出場権獲得

陸上

○関東新人陸上競技大会

女子800m2位

○関東高校総合体育大会

女子800m出場

○関東選手権大会

女子800m出場

硬式テニス

千葉県総体テニス競技
女子団体の部5位
千葉県テニス新人大会
女子 団体の部 ベスト16

演劇

千葉県高等学校演劇研究中央発表会
優良賞

ダンス

第33回全日本高校・大学ダンスフェスティバル
出場

吹奏楽

◎全国ポピュラーステージ吹奏楽コンクール

優秀賞
全日本プラスシンフォニーコンクール
優勝

○東関東吹奏楽コンクール

銅賞
千葉県吹奏楽コンクール本選高等学校A部門
金賞
千葉県吹奏楽個人コンクール
金賞、金賞、銀賞

書道

第22回高校生国際美術展
千葉県知事賞1名、奨励賞2名
第37回高円宮杯日本武道館書道書道大展示覧会
東京都議会議長賞1名 日本P T A全国協議会賞1名 読売新聞社賞1名
審査委員長奨励賞1名
第26回全日本高校・大学生書道展
全日本高校大学書道展賞1名、優秀賞2名
◎第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会(書道部門千葉県代表)
特別賞1名
第52回近江神宮全国献書大会
毎日新聞社賞1名 栗東市長賞1名 毎日新聞社大津支局長賞2名
第30回国際高校生選抜書展
南関東地区優秀賞(団体)
優秀賞1名 秀作賞2名 入選12名
第62回大東文化大学全国書道展
全国書美術振興会賞(団体)
学長賞1名 理事長賞1名
第58回全日本書き初め大展示覧会
全国優秀団体賞(団体・席書の部 全国1位)
文部科学大臣賞1名
日本武道館理事長賞2名
全国高等学校長協会賞1名
全国都道府県立武道館協議会賞1名
朝日新聞社賞2名 読売新聞社賞1名
毎日新聞社賞1名 日本経済新聞社賞1名
産業経済新聞社賞2名 日本テレビ賞1名
第26回全日本高等学校書道コンクール
特別優秀校(団体・全国準優勝) 大賞6名 準大賞9名

第19回和洋女子大学競書大会

全日本書道連盟奨励賞1名
審査員奨励賞7名
読売書き初めコンクール
特選1名、佳作2名
第11回全国青少年書き初め大会
NHK会長賞(団体・全国準優勝)
文部科学大臣賞1名
全国書道高等学校協議会理事長賞1名
全日本高等学校書道教育研究会会長賞1名
全日本高等学校芸術教育研究会会長賞1名
審査委員奨励賞2名

◎…全国大会 ○…関東大会

同窓会「課外活動壮行奨励制度」により壮行奨励金を支給しました。

＝鴻陵会表彰受賞者＝

第74期卒業生

鴻陵会賞

3ヵ年を通じて学業が優秀な者

8組 林 夏光

功労賞

在学中の課外活動で特に顕著な功績が認められる者

8組 宮口 拓己(書道部)

数多くの書道展で上位入賞を果たした。

皆勤賞

3ヵ年皆勤(無欠席、無遅刻、無早退及び無欠課)の者

1組	秋吉 健吾	西浦 翔	芳賀 なつひ
	大槻 洋翔	半田 彩奈	矢口 七海
	齊藤 慶吾	松本 響	山川 ゆい
	未永 侑樹	4組 石崎 紗彩	岡本 一華
	高澤 樹	北浦 拓歩	6組 佐々木 倅
	高橋 粹	佐藤 美海	三好 有紗
	山手 旺大	寺門 花菜	7組 串部 智佳
2組	飯塚 のあ	古川 眞琴	西前 結来
	前島 健太	5組 天川 琴弓	安井 芽依
3組	青山 健太郎	北村 優奈	8組 飯生 詩織
	阿部 祥大	櫛田 朱里	佐藤 優妃
	梅本 航	佐藤 未夏	松丸 日向子
	小野 颯馬	谷口 陽祐	安元 彩夏
	北野 航成	中村 くるみ	

転出・退職された先生

二〇二三年三月に十七名の先生方が転出・退職されました。
校長 苅込英昭先生(順天堂大学スポーツ健康科学部)
国語 大竹未紗先生(船橋古和釜)
国語 中村久美子先生(再任用終了)
国語 増田幸恵先生(再任用終了)
社会 鈴木誠先生(定年退職 本校再任用)
社会 鈴木祐輝先生(船橋啓明)
数学 宮本祐樹先生(東葉)
数学 稲垣秀樹先生(東葉)
数学 鈴木弘先生(定年退職 本校講師)
理科 東治彦先生(市川工業)
理科 大山直見先生(再任用終了)
理科 飯島篤史先生(県スポーツ振興課)
保体 渡部史織先生(松戸)
音楽 稲寺直紀先生(我孫子東)
英語 今泉博充先生(定年退職)
英語 久保木忠男先生(再任用終了)
英語 山田理恵子先生(定年退職)
英語 松尾智大先生(浦安 講師)

卒業生の進路状況

2021(令和3)年度

	現役(推薦)	浪人	合計
国公立大学	6 (0)	3	9
私立大学	279 (49)	27	306
短期大学	2 (0)	2	4
専門学校	8 (2)	2	10
大学校	0 (0)	0	0
就職	1 (0)	0	1
計	296 (52)	34	330

ポスト

いもぼんど

四十回記念コンサート

映画「スウィングガールズ」(二〇〇四)で一躍注目を浴びた高校生ジャズバンドですが、本校吹奏楽部も一九六〇年代に全国に先駆けて高校生



ジャズバンドとしてスタートしたユニークな歴史を持つています。その同窓生が一九七六年に始めたビッグバンド「いもぼんど」(代表二十四期高橋守之)が四十回記念コンサートを敢行。ゲストの和太鼓集団が幕開けを飾り、続いて四十年の歴史に裏打ちされたオトナなスウィングフィ

NHK朝ドラ「カムカムエブリバディ」で注目された「オンザサニーサイドオブザストーリー」を、初期のスタイルである小編成のデイクシーランドスタイル(二十八期島崎喜明他)と、ボーカル(二十九期鎗田圭子)を交えたビッグバンドスタイルのふたつのアレンジで熱演。満場の拍手喝采を浴びていました。

小谷松 哲也(8) 認知症になり読み書きができません。私が代筆しました。(妻) 田中 愛子(9) 九期生、香山(こま)登一先生ご夫妻を囲んでの句会「常夜灯」を今も十人の生き残りが細々ながら灯を消さず毎月続けています!!

上競技選手権大会で鳥倉あゆ美(二年市川二中出身)が八〇〇mで三位入賞果たしました。全国インターハイ出場に期待。野澤 秀子(12) 冬になると思い出す教室に暖房がなかったことを。スパルタ教育だった? 今、考えられないね。

【12】秋本幹夫 野澤秀子 米村さとし 泉谷清次 小澤護 櫻澤秀子 中田啓子 宮下洋子 腰原誠 根岸薫 室和成 柳川俊介 山崎壽子 斎藤栄子 斎藤良子 杉山徹宗 宮山繁 高木石子 野田昭子

【13】松平百合子 岩瀬美大内進 大久保等 河西明本橋乗子 高梨昭子 渡部由美子 永塚富美子 田中隼夫 立原昭臣 千葉和恵 岡本九子 西村昭彦 外岡弘子 堀越健爾 関邦子 松本康男 岩瀬多喜子

【14】豊田芳子 稲本智田中田人 須賀昭子 田中英子 杉浦多美子 本吉良子 小野昭夫 竹内喜忠 秋谷征子 山崎主税 木村千枝子 秋山喜義 鳥居英彰 野村匡司 渡辺征則 本間和子 秋元幸男 岸田浩一 那知輝慧 萩谷和恵

【15】内田節子 佐々木三枝子 染谷昭一 柴藤瑠美子 渡邊敏子 阿部君世 榎本好子 中村正子 荒井美津子 安藤康彦

いもぼんど(章創期の「稲泉安彦とO&B」時代を含む)に在籍した同窓生 期数・五十音順・敬称略 ★は現在籍者

21 寺田寛典 上村隆 早房長隆 青木(棚田)純代 26 上村隆 ★安藤(服部)雅

24 鎌田一夫(故) 吉田直 ★高橋守之 青木啓一 29 明石行夫 榎本弘良 32 ★有田直志

25 稲泉安彦 小島洋之 小林一成 ★小森毅 柴田孝一 35 斎藤一則

【16】西野愛子 小倉俊昭 角谷富士男 松丸孝男 杉山榮子 高橋勲 高橋玲子 佐藤美佐子 安永和代 町山和江 佐倉保 島野修至 高橋五十武 山口美智子 山口孝枝 多田吉晴 内山和子 服部洋子 松岡厚子 黒川公子 大橋一正 前川正敏 山本真知子

【17】細野隆志 遠藤貞村上榮一 安藤啓子 山本尚子 野間宗 野本とも子 赤萩郁子 武内修 友寄景和 村上玲子 斉木幸子 千葉洋子 三浦多恵子 内山賢一郎

【18】中島和子 唐登美智子 原田和子 丸茂茉莉重喜 村山美枝子

【19】畠好太郎 横尾格美 赤堀正光 小川幸次 山内泰生 渡部静夫 小林美知子 中尾治子 児玉久子 土屋ひろみ 高橋和子 秋元正弘 梅田政二

29期 榎本 弘良

今月(十一月)八十七才の Birthday を迎えます。元氣ですが認知症です。(次女) 今関 一夫(7) 結婚五十年、三浦綾子文学ツアード北海道へ行きました。「氷点」「塩狩峠」「泥流地帯」など現地を訪ね、作品との関連を楽しんできました。晩秋の広大な北海道の景観に癒されました。大西 正純(7) 年は自分で作るもの、まだ六十才のつもりでいます。ゴルフのハンデ二十八です。

櫻井 壽一(10) 傘寿も過ぎてまだ社会活動に協力努力しています。心身の健康第一ですよ。放送部どうしたかな? 藤井 寛子(11) 毎年三月に有志で会を持っていましたが、このところ中止。すでに故人となった方々も数人。投薬や通院はあっても動けるだけ感謝。

山田 敏明(11) 転勤で大阪千里万博の地が終の棲家となって早や半世紀です。ミニ現役続行中です。六十年前の校舎を一度見に行く計画がコロナ騒動で叶わず……。母校の益々の発展を祈念しております。

加藤 明身(11) 丸山清氏二〇二一年三月、国府浜敦子氏二〇二一年三月、亡くなりました。福地 身一(11) 令和二年度第二十五回 関東高等学校選抜新人陸

【20】秋本茂夫 大川博志 大久保博 佐藤了 竹谷孝一 木幡道子 神林裕子 飯田裕 千石徹 皿池真知子 大久保照雄 熊谷俊一 柴田幸治 東條保典 秋田谷建 久保博 澤田友佳 高木保 土屋雄三 土屋五百子 長谷川景子 天野和代

【21】山本純子 田中真美子 松田和夫 増山佐代子 高橋俊治 江崎道子 松丸春生 山本正博 桑原裕子 多田光

【22】田中孝夫 佐々木教安 石川恵美子 横尾隆笠野昌樹 河内明夫 矢作宏 川名光俊 井上邦夫 園部由里子 河内和子 西岡晶子 上田真弓 小倉和幸 織田透 熊谷敏夫 寺西薫 武藤茂樹 山下幸治 大澤節子 川端貴代志 野村誠 横尾幸子 小田勝正 加瀬友喜 藤井暢純 松井重喜 村山美枝子

声

浅野 誠 (1)

コロナ禍が治まらず、日本経済も一時元気がなく、周辺の諸外国も安定せず、不安材料が多すぎる様です。

河合 隆一 (3)

①太平洋戦争どころではない危機です。どんな社会になっていくのか。②我が断捨離はなかなかかどりません。

齋藤 政子 (4)

いつの間にか米寿。フラダンスを楽しんでいます。孫のような会員の方

々のほほえましい活躍に目を細めております。

白田 澄 (5)

暮らして、健康。合唱団でウィーンに行き、ドイツでは第九合唱に参加し、コーラスは現在も続き、元氣なことは感謝です。

河野 稔 (6)

米寿を終え、相変わらずの車椅子、リハビリ生活の毎日ですが、二〇二二年こそ総会、鴻陵会出席の年となるよういつそ頑張りたく思っています。

御木本 明子 (6)

十八です。

今月(十一月)八十七才の Birthday を迎えます。元氣ですが認知症です。(次女) 今関 一夫(7) 結婚五十年、三浦綾子文学ツアード北海道へ行きました。「氷点」「塩狩峠」「泥流地帯」など現地を訪ね、作品との関連を楽しんできました。晩秋の広大な北海道の景観に癒されました。大西 正純(7) 年は自分で作るもの、まだ六十才のつもりでいます。ゴルフのハンデ二十八です。

櫻井 壽一(10)

傘寿も過ぎてまだ社会活動に協力努力しています。心身の健康第一ですよ。放送部どうしたかな? 藤井 寛子(11) 毎年三月に有志で会を持っていましたが、このところ中止。すでに故人となった方々も数人。投薬や通院はあっても動けるだけ感謝。

山田 敏明(11)

転勤で大阪千里万博の地が終の棲家となって早や半世紀です。ミニ現役続行中です。六十年前の校舎を一度見に行く計画がコロナ騒動で叶わず……。母校の益々の発展を祈念しております。

加藤 明身(11)

丸山清氏二〇二一年三月、国府浜敦子氏二〇二一年三月、亡くなりました。福地 身一(11) 令和二年度第二十五回 関東高等学校選抜新人陸

【12】秋本幹夫 野澤秀子 米村さとし 泉谷清次 小澤護 櫻澤秀子 中田啓子 宮下洋子 腰原誠 根岸薫 室和成 柳川俊介 山崎壽子 斎藤栄子 斎藤良子 杉山徹宗 宮山繁 高木石子 野田昭子

【13】松平百合子 岩瀬美大内進 大久保等 河西明本橋乗子 高梨昭子 渡部由美子 永塚富美子 田中隼夫 立原昭臣 千葉和恵 岡本九子 西村昭彦 外岡弘子 堀越健爾 関邦子 松本康男 岩瀬多喜子

【14】豊田芳子 稲本智田中田人 須賀昭子 田中英子 杉浦多美子 本吉良子 小野昭夫 竹内喜忠 秋谷征子 山崎主税 木村千枝子 秋山喜義 鳥居英彰 野村匡司 渡辺征則 本間和子 秋元幸男 岸田浩一 那知輝慧 萩谷和恵

【15】内田節子 佐々木三枝子 染谷昭一 柴藤瑠美子 渡邊敏子 阿部君世 榎本好子 中村正子 荒井美津子 安藤康彦

【16】西野愛子 小倉俊昭 角谷富士男 松丸孝男 杉山榮子 高橋勲 高橋玲子 佐藤美佐子 安永和代 町山和江 佐倉保 島野修至 高橋五十武 山口美智子 山口孝枝 多田吉晴 内山和子 服部洋子 松岡厚子 黒川公子 大橋一正 前川正敏 山本真知子

【17】細野隆志 遠藤貞村上榮一 安藤啓子 山本尚子 野間宗 野本とも子 赤萩郁子 武内修 友寄景和 村上玲子 斉木幸子 千葉洋子 三浦多恵子 内山賢一郎

【18】中島和子 唐登美智子 原田和子 丸茂茉莉重喜 村山美枝子

【19】畠好太郎 横尾格美 赤堀正光 小川幸次 山内泰生 渡部静夫 小林美知子 中尾治子 児玉久子 土屋ひろみ 高橋和子 秋元正弘 梅田政二

【20】秋本茂夫 大川博志 大久保博 佐藤了 竹谷孝一 木幡道子 神林裕子 飯田裕 千石徹 皿池真知子 大久保照雄 熊谷俊一 柴田幸治 東條保典 秋田谷建 久保博 澤田友佳 高木保 土屋雄三 土屋五百子 長谷川景子 天野和代

【21】山本純子 田中真美子 松田和夫 増山佐代子 高橋俊治 江崎道子 松丸春生 山本正博 桑原裕子 多田光

【22】田中孝夫 佐々木教安 石川恵美子 横尾隆笠野昌樹 河内明夫 矢作宏 川名光俊 井上邦夫 園部由里子 河内和子 西岡晶子 上田真弓 小倉和幸 織田透 熊谷敏夫 寺西薫 武藤茂樹 山下幸治 大澤節子 川端貴代志 野村誠 横尾幸子 小田勝正 加瀬友喜 藤井暢純 松井重喜 村山美枝子

寄本 義一(18)

『月刊自動認識』という雑誌に「ETA・AALの普及を目指して」という連載を二〇二二年六月から始めております。

久保 博(20) 市のシルバー人材センターの会員になり、週三回仕事をしています。日常ランニング等で体を鍛え元気に過ごしています。

田中 貴美子(21)

次回同期会は当分先。喜寿祝になりそうです。皆さんお元気で。

井上 邦夫(22)

ギター再開。鴻陵祭でバンド演奏した事を懐かしく思い出します。



演劇部 六十四年後の再会

初舞台となった文化祭でのラシーヌ作『フェードル』(川口洋先生演出)で、王子イポリット役の小生の冒頭のセリフが「決心はついた。私は旅に出る」だった。

先輩の渡部(旧姓小林)由美子さんからの年賀状に、当時の演劇部の部長だった高梨洋一さんが奥様の(旧姓後藤)昭子さんと目白駅近くでカフェを開いているので行かないかとお誘いがあった。

高梨さんは十二期、後藤さん、小林さんは十三期、小生は十四期だ。忘れ得ぬ先輩方との再会が叶うなんて夢のようなこと。もちろん心を弾ませてお誘いに乗った。

河内 和子(22)

ドリカムのファンでした。が会報四十号で二十九期の中村正人さんのインタビューが掲載されていて、とても嬉しかった。活躍を期待しています。

河内 明夫(22)

在宅ワークで増した体重を落とすため、毎日一万歩のウォーキングを続けてやると元の体重に落ちました。じゅん菜池、里見公園、高校周辺が気に入りのコースです。

倉島 俊和(23)

妻他界で気ままな一人暮らしも十四年が経過。本年古希を迎える私ですが、今は両親宅へ出向き老々介護で奮闘中！白寿

満洒なカフェに入り王妃で母親役だった昭子さんに再会するや「イポリットは六十四年の永い旅を終えてオリンポス山の麓コリントの都から戻りました」の珍セリフを用意して告げたのだが、演技力不足か思惑のほど受けなかった。それより、お二人を前にして結婚されていたことに小生は腑に落ちる思いを抱いたのだが、当時それほどに彼女お二人は不思議なオラを発していた印象が強かったからだ。

酒に酔った文化祭でのラシーヌ作『フェードル』(川口洋先生演出)で、王子イポリット役の小生の冒頭のセリフが「決心はついた。私は旅に出る」だった。

先輩の渡部(旧姓小林)由美子さんからの年賀状に、当時の演劇部の部長だった高梨洋一さんが奥様の(旧姓後藤)昭子さんと目白駅近くでカフェを開いているので行かないかとお誘いがあった。

高梨さんは十二期、後藤さん、小林さんは十三期、小生は十四期だ。忘れ得ぬ先輩方との再会が叶うなんて夢のようなこと。もちろん心を弾ませてお誘いに乗った。

高梨さんは十二期、後藤さん、小林さんは十三期、小生は十四期だ。忘れ得ぬ先輩方との再会が叶うなんて夢のようなこと。もちろん心を弾ませてお誘いに乗った。



左側 高梨夫妻 右側 渡部さんと小生

中島 行雄(23)

母校の校則のキーワードの「自由」や「平和」を護りつつ、学術・芸術など「文化」を大切に、人間同士の「敬愛」も忘れずに。今後も、こんな気持ちで生きるのが、我々の「責務」だと思おう。

倉島 俊和(23)

妻他界で気ままな一人暮らしも十四年が経過。本年古希を迎える私ですが、今は両親宅へ出向き老々介護で奮闘中！白寿

小林 博文(27)

「私と兄」二人共国府台高校。兄は他界したが、同期の加藤会長には、よく面倒を見てもらった。写真の変わりないご様子何よりです。私も前期高齢者。気持ちは高校の時そのままかもしれません。

堀切 伸一(28)

コロナが終息してまた同期会で松澤先生に会いたいです。

石井 広志(33)

国府台高校の学校歯科医を拝命しています。

楠本 宇香(37)

十年後、二十年後に二〇二〇年を振り返り「素晴らしいあの時は・・・」と穏やかに語りたい。

猪野 周九(38)

一九八四年の鴻陵祭、旧体育館でバンド演奏をしました。今でもバンドを組んでいます。この年の鴻陵祭の様子はNHK教育テレビの「われら高校生」で三年八組の先輩(劇団タコです!)のドキュメントを中心に全国にオンエアされました。

14期 宮崎 紘一

山手線目白駅改札すぐ 0359825993

学生時代に 思いを馳せて

先日片付けをした際に、当時担任の釜山徳子先生からご指導いただいた(手芸部・顧問)手作りのバッグが出てまいりました。

の母は五十年前我が母校

のPTA副会長、我が同期旧友の名前を今もしっかりと覚えております(笑) 「二十三期古希学会」の企画は勝田智行君と推進中、当面お預けです。

甲斐 久也(24)

まち歩きのに参加するとよく同窓生に会い、とたんに先輩・後輩の関係が生じます。

鶴崎 修(25)

六十二才で完全年金生活。県内田舎へ移ったが

ところが残念なことに、我々世代が親しんできた抒情歌は、言葉が難しいという理由で、今では教科書から消えつつあるということでした。

デジタリ化が進み、この急激な変化に高齢者がついていくのはなかなか難しい時代になりました。それでも古来から伝わる「日本の心」や「美しい言葉と自然」が少しでも残っていくことを願っています。歴史と緑に彩られた国府台の地で勉学にいそむことができ、幸せなことでした。

今年喜寿を迎えます十六期生、世界中を不安に陥れた未曾有のコロナウイルスの影響で、同期会・クラス会が延期になって

先日、雅楽師・東儀秀樹氏による「日本の歌」を聞く機会がありました。「朧月夜」「浜辺の歌」「仰げば尊し」……笙や箏「ひちりき」の音色のゆったりとした調べは、心の奥に深く染み入りま

「晴耕雨読」とはならず、趣味は国内外旅行やバイクツーリング、季節ごとに庭木の手入れ。「今を生きる」、先日も友人三人と日帰りツーリング五八〇キロに行ってきた。

「私と兄」二人共国府台高校。兄は他界したが、同期の加藤会長には、よく面倒を見てもらった。写真の変わりないご様子何よりです。私も前期高齢者。気持ちは高校の時そのままかもしれません。

堀切 伸一(28) コロナが終息してまた同期会で松澤先生に会いたいです。

石井 広志(33) 国府台高校の学校歯科医を拝命しています。

16期 安永(筒井)和代

鈴木基道

【23】松岡秀明 中島行雄 小林丈文 秋葉滋 原田恵 津子 秋本雅弘 田口幸夫 大久保進 河西紀美子 齋藤均 佐々木裕一 島根澄江 沖野雄司 倉島俊和 日野浩光

【24】川上伸児 中台邦也 戸田まり子 甲斐久也 斉藤信二郎 柴田則夫 川上美紀子 古橋雄二

【25】泉澤祐治 鬼頭芳則 石山泰明 高橋清 鶴崎修 萩原剛 萩原博 中台昌美 川畑雅史 佐竹洋 中村正樹

【26】末廣左千子 渡辺幸保 小野田博文 小坂正一 小林謙三 石橋賢一 遠藤雅道 大野一美 藤田克彦 匿名

【27】遠藤悟 清水絹代 瀧口宏 小林博文 橋本則子 一木真美子

【28】金澤美智子 讚岐田恵美 富永敦子 菊田美知子 多田真 河野尚美 堀切伸一 森真由子

【29】平井まゆみ 藤田秋子

【30】岡野順子

【31】寺尾里代 筒井まさ子 市原一雄 落合幸子 二ノ宮敏行 二宮しをり 佐藤成子

【32】武者弥生 伊藤滋子 田中郁子 馬場千恵子 谷口尚範 相原一仁 中村順一 前原健二 清水博之 多田くみ子

【33】石井広志 高橋義則 坂井眞 匿名

【34】宮倉茂樹 松井孝雄

科学部で研育教育に携わっています。母校在校生の学びのお役に立てる事がありましたら。

浅井 公太(65) 大阪で小学校の教員を婚します。

【35】杉山幸子 保田広安 蓮池幸子 井上治

【36】小林昌義 丸山誠一 小林雅子 青田泰代 大森雅久 押切信幸

【37】横田淳一 楠本宇香 匿名

【38】猪野周九 上村真一 渡辺祥子 西村(宮本)幸子

【39】園田大策 伊藤桂吾 山本文朋 有田敏伸 稲嶺健 高野(荒井)歩

【40】貴田正子 田中寛子

【41】瀬戸裕之 塚本将史

【42】榛村道輝 久保田宗穂

鈴木基道

【43】矢島隆志

【44】濱田研一

【45】大橋正明

【46】中川清輝

【47】矢島隆志

【48】秋田谷剛 小黒ゆかり 川島健 高木佑樹

【49】鎌原(矢口)沙綾

【50】桜井孝則 古市雅洋

【51】花田遥香

【52】金井伊織

【53】浅井公太

【54】國司裕一郎

【55】葛南1 佐藤武 須賀常吉

【56】葛南6 矢嶋弘子

【57】葛南8 末次治子 加納桂子 松木光子

【58】葛南11 石引美貴

【59】葛南18 武田芳人

【60】葛南19 須永富美子

【61】恩師 鬼島正和 大木忠郎 岡野照 酒井健一 富永勝子 加納晴雄

以上四五五名

～ 踏 跡 ～

国府台高校 80年

私たち74期生は、1年生の後半から本格的にコロナウイルスが流行し、感染の拡大に伴い高校生活で最大のイベントである修学旅行も先生方が何度もどうにかしていけないかと考えてくださったのですが、行くことは出来ませんでした。

3年生になり、文化祭もできるかできないかという中で、文化祭を経験したことがあるのが、私たちしかいなくなってしまう、このままでは鴻陵祭の伝統を引き継ぐことができない。そんな状況で多くの人の支え、クラスでの協力があり、短い期間で多くの制限がある中、文化祭を成功して終わることが出来ました。大変な状況の中で全員が我慢をし努力をした結果が大きな達成感に繋がったと思います。

鴻陵生はとても真面目な生徒が多く、常に勉強や部活などに熱心に励む姿が見られます。80周年という大きな節目を迎えても、文化祭の伝統だったり、ひたむきに努力する姿を守って欲しいです。

74期(2022年卒) 作田 朱音

我が学年は男女比が2対1、おまけに2年時から理系、文系の進路別クラス編成で、理系の我がクラスは54人中女子が僅か5名。激しい競争率の下、女子から相手にされない多くの男子は、仕方なく男子だけでつるんで高校生活を過ごし、男女共学のはずが、私にとってはまるで男子校のようでした。

定期試験や文化祭後のフォークダンスでは、背が低かった私は女子側に入れられ、男子と踊らされ、辛い思いをしたものです。数十年後のクラス会で、同級生の女子と久し振りに再会し、初めてまともな会話をしたものです。

当時国府台はスポーツが盛んで、1年下の学年は陸上で全国大会優勝という快挙を成し遂げ、他の部活も強かったと思います。私は運動部に所属していませんでしたが、昼休み、放課後に仲間とサッカーやバスケットを楽しんでいました。定期試験は「試験時間の半分が経過すると退室可」という決まりで、先生の「退室して良い」との声が掛かると解答用紙を裏返して教室を出、一目散に体育館に向ったものです。試験から逃げ出して来た少人数のものが集まり、広い体育館でゆったりとバスケットに興じたことをよく覚えています。

20期(1968年卒) 岩橋 誠

1961年秋、生徒会は「愛の献血運動」に取り組んだ。当時、医療で使われる血液の大部分が売血でまかなわれ、そのことが社会問題になっていた。

たまたま本校近くにあった千葉県血清研究所でアルバイトをした生徒の提案を受けてのもので、学校の指導と血清研究所の協力で実現した。

高校生による献血運動は全国的にも珍しく、生徒会はNHKから取材を受けて特集を組まれ、翌1962年には日本赤十字社から特別表彰を受けている。

14期(1962年卒) 竹内 喜忠

私はあと数か月で八十一才になるが、人との出会いは人生の宝であると思っている。

私にとって最初に経験した人との出会いは学校であった。そこで友人と出会い、先生と出会った。

孤独で寂しい時々には、友人によって慰められ、先生からは将来の進む道を示唆して頂いた。学校は勉強するところかもしれないが、それ以上に出会いの機会を与えてくれるところである。

その後出会ったある人は、一生のうち十年間は一生懸命勉強すべき時期があると言っていた。私はその言葉を心に止め、数年間一生懸命勉強し、運よく司法試験に合格し弁護士になった。弁護士になってからもいろいろな人々に出会った。その間辛いながらも楽しく充実した日々を送って来た。

幸せは人との出会いによってもたらされる。出会いは人生の宝である。私は生きている限り、人との出会いを求めて行きたいと思う。

葛南7期(1961年卒) 宍倉 秀男

歴史の中で踏み出されたステップ これから踏み出されるステップ … 各年代の方に思いを綴っていただきました。

私が所属していた文化委員会は、文化祭の管理運営を行う委員会です。我が校は自主自律の校風ですので、運営から実行まで様々な権限が文化委員会に付与されています。自由な裁量権は非常に有難く、充実感もあるのですが、そうなる気を遣うのが「生徒同士の揉め事の仲裁」です。

その日は1年生の出し物調整会議。2年生は飲食、3年生は演劇と決まっているので、1年生はそれ以外の出し物をやります。人気の「お化け屋敷」は各クラスが取り合うのです。なのに、連絡ミスか2クラスの代表者が現れません。我々としては、呼びに行くか、後日に再会議しようとしたのですが、ここは血気盛んな1年生。数名が「来なかったんだからダメでしょ！このまま決めましょうよ！」と囁し立てます。困り果てる文化委員。しかし、ここで先生を頼るのはNG。我々運営者が何とかするしかありません。まずはなだめて、次に説得をし、テコでも動かない子には叱責したりと…手を尽くした末ようやく落ち着いてくれました。終了後、文化委員の皆と「こんな事もしないとイケないんだねえ」と、疲弊しながら語り合いました(笑)

自由の反面、責任や仕事の難しさも伴ってくるという実感。そしてそれを経験させてくれた出来事として、深く記憶に残っています。

68期(2010年卒) 岡田 拓人

筆者は学校群制度の始まった1975年に入学しました。入学するまで国府台高校のことは殆ど知りませんでした。入学してみると、当時の国府台高校は、高校の中でも特異な存在であることを実感しました。生徒会活動が大変活発で、しかも生徒会の中で三権分立が確立されていた高校など他にはみられませんでした。生徒総会決議と職員会議の議決とが同等の扱いとなるなど驚きでした。こうしたことが確立されるまでには先輩方の多くの努力があったことはもちろんですが、多くの先生方が協力を惜しまなかったことも忘れるわけにはいきません。

社会の大人からすれば大変目障りな存在であったに違いありません。ただ、当事者としては、こんなに楽しい学園生活を過ごさせていただいた国府台高校には感謝してもしきれません。特に、筆者は3年間のうち2年半を生徒会執行部(書記局)で過ごさせていただいたのでなおさらです。

ところが、大変残念なことに、現在の国府台高校の様子は当時とは一変してしまい、他の高校と何ら変わりがありません。もちろん、管理する側からすればこんなにいいことはないのでしょうか。受験生の身からは、今の国府台高校にいったいどんな魅力を感じるのでしょうか。新たな歴史を刻むこれからの国府台高校に期待したいところです。

30期(1978年卒) 星野 茂

私は、看護師資格を取得し3年ほど社会人経験をしてから、昭和38年2学年に編入、昭和40年第11期生として卒業致しました。この二年間の定時制高校生活は、私の人生を大きく転換させました。

在学中に年上の同級生と結婚、先天性心臓疾患のあった夫(52歳で死去。勲六等寶綬章授受)の大学進学、単位取得までをサポート。子供二人を出産後、当時日本で法制化されたばかりの眼科専門検査技師資格国家試験に特例で挑戦。昭和59年に千葉県で免許登録二人目として資格を取得。こうして二つのライセンスを生かしながら、公立病院に42年間奉職、平成15年定年退職。退職と同時に同僚だった医師達と眼科クリニックおよび高度医療機器販売会社を立ち上げ、80歳の今も現役で継続中です。

社会的には、国際ロータリークラブに所属、千葉県地区委員なども仰せつかり、社会奉仕活動などにも参加しております。

同窓会も理事でお手伝いさせて頂いておりますが、段々寂しくなって来ております。80周年を機に、名に恥ない楽しい同窓会になります様祈念致します。

葛南11期(1965年卒) 石引 美貴

私が「国府台らしさ」を感じる思い出は、在学中に先生方と協議した連絡協議会の日々です。生徒会での決定事項と教職員の決定事項に相違があったときに、その解決のために両者が膝つき合わせて話し合う会議。とても国府台らしい制度ですね。

在学中に卒業式の実施方法について生徒と教職員の意見が割れたので、卒業式実行委員として、その解決のために連絡協議会に参加しました。放課後、毎日のように残っては協議をしたり、次回の協議のために生徒会室で作戦会議をした日々は、ある種、部活のようでした。

いま当時を振り返って収穫だと思うのは、この議題の是非ではなくて「国府台の自由」の輪郭がわかったことです。「自由な校風」「自主自律」と謳っていても、やっぱり県立高校で、生徒が全て自由にできるわけではない。その現実を知った上で、自由であろうと主張して、他の生徒や先生や社会とせめぎ合って、その時々「自由」を確立していく。その姿勢こそが「国府台の自由」であり「国府台らしさ」なのだと思えたことが、一番の収穫であり思い出です。時代によって制度や文化は変わりますが、その姿勢は引き継がれて欲しいな、と思っています。

56期(2004年卒) 富坂 友

本紙8面「お元気ですか」で恩師萩倉先生をインタビューした際に、鴻陵生の印象について「古代ギリシャのアテネのアゴラで公共的な議論を行っていたように、政治や社会について自由闊達に高校生なりにやってるんだなと感じた」「大人っぽい高校生が多いと思った」とお話しいただいたのが、自分にとっての鴻陵生のイメージです。入学直後、NHKで取り上げられた鴻陵祭の映像や、実際に書記局や文化委員会、HR運営委員会の諸先輩に接し、随分大人に感じたものです。

自分にとっての国府台の象徴は生徒会活動であり、服装自由化や校則の大幅改定等に取り組みました。当時は生徒会連盟を設立したり、視察が長野から来たりもしました。18歳選挙権を提案し実現させた背景にも国府台のような社会を創りたいとの思いがあり、政治家や行政、大学の准教授等様々なキャリアで活動してきた原点は国府台の「自主自律」の精神だったりします。今も生徒会活動支援協会という団体を立ち上げ、全国の生徒会支援を行っています。

主権者教育や主体的な学習等が求められる時代になり、国府台の歴史と伝統は、一周遅れで最先端の教育になるのではと思っています。80周年を契機に、今一度忘れられかけた価値の継承と発展につなげていきたいです。

47期(1995年卒) 高橋 亮平

私の父は長年行徳町役場に勤めていました。自身も苦学をした人で、役場の職員や町内で高校に進学していない人のため「夜間高校を作りたい」と、会議だの、南行徳小学校の校長と面談だのと、父の努力をしていました。たくさんの方々の尽力で、昭和26年に国府台高校葛南分校が設立されて、父の努力も報われました。

父はまた、国府台高校には大学教授に匹敵する素晴らしい先生方が揃っていると知って、私を他校からわざわざ受験させてくれました。国府台で昼間教えていた先生方が夜は南行徳の葛南分校で、両方で教えていましたから、本校も分校も同じ先生に習っています。国語の香山登一先生の「ただ集まってたらただの飲み会になる。何か目的を持ちなさい」の一声で始まった俳句の会『常夜燈』は、50年経って今も続いています。葛南分校が題材の映画『川つ風野郎たち』の原作『川にさす潮』の作者香山美子さんは先生の奥様です。

葛南分校が行徳高校に吸収されたのは少し残念ですが、本校も分校もなくその頃の仲間とは今でも交流が続いています。うれしいことです。

9期(1957年卒) 田中 愛子

インタビュー

現役生に訊く、昨年と今年の鴻陵祭

二〇二一年度は鴻陵祭の一般公開が行われなかった関係で、同窓会としては参加せず、取材も行うことができなかった。それを受けて、二〇二二年七月、昨年の鴻陵祭はどういうものだったのか、そして今年の鴻陵祭はどういう形になるのか、現役生に話を聞いてきた。



《参加者》
生徒会
新村さん(新会長2年) 北嶋さん(会計1年)
安藤さん(副会長2年) 五木田先生(顧問) 文中「先生」
山田さん(副会長2年)
萩原さん(書記2年)
松本さん(書記2年)
加藤さん(会計1年)
鈴木さん(会計1年)
聞き手・同窓会
富坂友 広報委員 56期
高橋亮平 理事長 47期

実施の形態

― 昨年の鴻陵祭はどういう形で行われたんですか？
新村 昨年は一般公開は無し、発表自体も、三年生の演劇だけ行つて、一、二年生は行わない、っていう形になりました。
― 三年のみにするまでは全体としては「実施する」という方向で動いていませんか？
松本 一、二年生は夏休み中の準備で買い出しをして学校に向かう段になつてその連絡を受けた人も結構いました。なんで、一、二年生は買い出しのレシートだけ台紙に貼り付けて終わつた印象です。
― 春から夏くらいの間は、やるかどうか不安なまま進んでいったんですか？

にはどんな感じでしたか？
先生 文化委員長が荒れてました。
新村 玉井先輩ですよ。あの人は文化祭のために国府台に来たみたいなので、だから…
萩原 特に文化委員の三年生の先輩たちは聞いた瞬間「え…無いの…？」ってショックを受けてたつて聞きました。
新村 私は、昨年はクラスの方の準備が大変だったの…クラスでキッキングスナイパー(テレビ番組「VS嵐」のゲーム。バルトコンベアで流れてくる的にボールを蹴つて当てる)をやろうとしていて…
― 室内で！？
新村 はい(笑)ギリギリで完成版を作り上げた瞬間にその連絡を受けたので「おお…マジか…」って…
― 三年生の演劇だけは発表したということですが、例年通り各教室を劇場にして行つたんですか？
萩原 一般公開はできなかったの、シスタークラスの一、二年生だけが見に行くっていう形でした。
― では三年生はシスタークラスが見る日だけ、二、三、四年生全員の、飲食を除いた発表内容を行うので、一般公開も行う予定でいます。
― 一般公開もできるんですね！
新村 一般公開はするんですが、人数制限はする予定です。
松本 予約フォームを作る感じだよな？
新村 家族枠と一般枠を分けて、人数を割り当ててイメージですね。
― わかりました。その予約フォームはどういうイメージで一般に公開されるか、などは決まっていますか？
新村 今のところまだタイミングは決まっていなと思います。
先生 決まり次第学校のホームページの「文化祭」というページに掲載する予定です。
決定までのプロセス
― この形態はどういう風に決まっていたんですか？
新村 生徒会としては何個か案を出して、途中は『一般公開無しで平日に実施』とかになりか

けたんですけど、そこはさっきの文化委員長とかが『土日一般公開したい』と主張して、何とかその案でいけるようになりました。なんで、結構こっち側の意見が通った感じですよ。
萩原 その話し合いが始まったのが二〇二一年の十一月くらいで、まだコロナも落ちついていなかったの、先生方としては『うーん…一般公開かあ…』『危ないんじゃないかな』みたいな。でも私達はせっかく文化祭やるなら一般公開したかったんで。
新村 規制はね、締めることはできるけど、後から緩めることはできないので。最初は一般公開できるとして、後から一般公開できないと、後から一般公開したいって主張することはないので。
鴻陵祭にかける思い
― 二年生は昨年実施できなかった悔しい思いを経験の開催となるわけですが、今年の鴻陵祭にはどんな思いがありますか？
萩原 個人的には、やっぱり去年三年生の演劇を見て、素人が…素人って言ったら悪いですけど、ここまでのクオリティで劇ってできるもんなんだ！と思って。それを、二回しか上演しないのか…これは一般公開したい、って思いました。
― そうか、二〇二〇年に

は鴻陵祭をやっていないから、昨年シスタークラスで見たことで初めて文化祭のクラス演劇を見たんですね。なので去年三年生だけでも演劇を上演したことで、ギリギリでノウハウが継承されたという。
新村 そう、そのためにやった、というか。
先生 職員会議でも三年生だけでも演劇をやらせてあげないと伝統が途切れちゃうよね、っていう話がありました。
― 先生方の間でもそういう意見が上がったんですね。
先生 ただ、シスタークラスで一、二年生に見せる前に、三年生の総監督の生徒が『自分達だけやっちゃってごめんね』って謝つた、って話もあつたみたいです。
― 三年生が「自分達だけやれてラッキー」って目線じゃないのが偉いです。
― まさかのキッキングスナイパー
萩原 僕ら一年生は『国府台は文化祭がすごい』って話を聞いてきたけど、やったことないし、見たこともないし、でも今日の話聞いて『伝統を受け継がなきゃいけない』って思ったし、とても気が入っています。今年うちがキッキングスナイパーやるんですけど、二〇二二年度、第七十五回鴻陵祭のスローガンは「鴻陵革命〜復活の狼煙を上げろ〜」。中止や縮小を経て再始動する鴻陵祭に期待したい。

鴻陵会個人情報変更届

国府台高等学校同窓会個人情報管理責任者 殿

◎届出人 (本人確認のため記入をお願いします)

令和 年 月 日

●氏名：
(在学時の氏名が現在と異なる場合) 旧氏名：
●ID番号 (封筒の宛名シールに記載)
[] - [] - []
または、卒業年次・クラス・出席番号

◎変更内容 (変更する場合のみで結構です)

●氏名：
●住所：
〒
●電話：
●メールアドレス：

お元気ですか?

萩倉 良先生



萩倉良先生(倫理、政治経済、社会担当) 現代社会ラゲ一部顧問

萩倉良先生は、一九九〇年から十一年間在職された。着任してまず、生徒たちが自発的に出すプリントが実に沢山あることに驚きました。自分たちで制服の問題について考える有志の会などもありました。古代ギリシャのアテネのアゴラでの公共的な議論よろしく、社会や政治について自由闊達に高校生なりの議論をやっているんだと感じました。

授業中、面白い話には食らいついてくるし、面白くないと寝だします。反応はストリートで、色々な質問をする生徒が非常に多かった。部活動では、練習試合のあと「こういうところが足りなかつたからこういう練習をしよう」と指摘すると非常に飲み込みが早い反面、上意下達式での「これをやれ」では、あまり動かない。教員も多士済々、生徒たちに刺激を与えながら、議論を促すという教員が多かったです。ベテランの教員が多く、三十二歳で着任した私は下から数えて何番目かでした。先生方同士が自由に議論し

合うのも国府台の良さでした。研究熱心な先生が多く、どの教科にも自分の専門分野に造詣の深い先生がいました。授業でも生徒会活動でも部活動でも教員として多くを学び、生徒への接し方も変わりました。生徒に投げかけて自分たちで考えさせたり、上意下達ではなく話し合つて物事を進めるやりかたの方が「国府台の生徒は伸びるな」と思いました。

当時、国府台高校の特色だった多数の選択科目。先生が担当された倫理は、十五〜二十人程。テーマと本を自分で選定して研究発表その後みんなで議論という大学のゼミのようだった。三年生の選択科目でしたが、たしかに、受験に関係ありません。それでも、生徒はよく調べて議論し、レベルの高い発表もたくさんありました。そういうことに一生懸命になれる生徒が多い学校でした。夏の暑い時に演劇の練習をし、部活も頑張る。浪人も多かったですが、最終的には希望の大学に行く生徒も多かった。非常に面白い学校でした。

高校生にとって、自分で物事を考え、変革を志向することが大切であり、加えて、意見の違う人達と議論を交わす重要性は、時代を超えて求められる……難しいのは、民主的に

物事を決めるのは手間がかかるということですが。時間をかけて様々な意見を出し合う。ある意見に対して反対の人もいれば賛成の人もいます。じっくり互いの話を聞く、一方で最後は決めなければいけない。決めた後まで対立したままでは上手くいきません。その過程には面倒なことが多々あり、それを乗り越える鴻陵生のエネルギーには「高校生つってこんな事ができるんだ」と感じしました。鴻陵祭の演劇が終わった後に、「級友と深く関わつて、その人の様々な面を知ることが出来てよかった」という生徒の声をよくききました。そういう体験が生徒を成長させるんだなと気づきました。勿論そこまで議論しなくてもいいじゃないかという生徒もいました。ただ、国府台高校は、多様な個性をもつ生徒に居場所のある、ある意味おもしろな学校でした。今でも様々の関わりがある中で、多くの卒業生から「あの時代は楽しかった」と聞きます。

国府台では、上級生から新入生が受ける影響が非常に大きい……生徒会、部活などで、代々受け継がれているものが多く、その象徴が『鴻陵祭』です。単に三年生が演劇をやるということだけでなく、鴻陵祭の原

案から作成し決定するのに、評議会や実行委員会があれだけ機能し、侃々諤々の議論をし、対立したりすることも含めてつくりあげていくそのプロセスが大事だったんだと思います。「なぜこんなに手間を掛けるんだ」という声もありますが、手間をかける中で、お互いに知恵を出し、情熱や思いを傾けることが本番のエネルギーになっていました。中学から国府台に来て間もない一年生たちには大きな衝撃だったはずです。

伝統を継承していくために、生徒会の『継承と発展』という冊子が発行されていました。いいことばかりではなく、こんなことで失敗したということも含め、歴史に記して継承していくのが、国府台でした。こうした積み重ねで、決してすべてが理想通りにいくのではなく、それでも色んなことにチャレンジしていくという伝統が醸成されてきたんだと思います。

先生は現在、東邦大学付属東邦高等学校で講師として倫理と公共を担当。今も変わらず生徒と向き合つて仕事ができているのは幸せです。学校によりやり方も違い、担任を持つている時とも違いますが、今でも生徒からの反応や質問で刺激をもらい続けています。

お願い

千葉県立国府台高等学校同窓会(鴻陵会) 会長 加藤徹(18期)

会員各位にはますますご活躍のことと存じます。同窓会として会報の発行送付事業を継続し、母校支援を通じて母校の学習環境の充実にご協力できますことは、ひとえに会員各位の日頃のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後とも会員各位のご意向に沿いつつ、同窓会活動の継続と更なる充実を図りたく、一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金にご協力ください

- ◎払込先 郵便振替 00110-0-353380 国府台高校同窓会 鴻陵会専用払込票(赤色)の場合、手数料は同窓会負担です。
◎払込票には住所、氏名、ID番号(封筒の宛名シールに記載)を明記してください。※連名も可能です。
◎金額 1口 1,000円(何口でも結構です)
◎払込票の受領証を領収書とさせていただきます。

住所・氏名等に変更がありましたらお知らせください

◎届出方法 個人情報専用フォーム(右のQRコード)から または



変更届を鴻陵会連絡所宛に郵送

裏面(p7)の様式にて

鴻陵会連絡所

〒272-0021 市川市八幡3-3-2-2402 高橋方 理事長 高橋亮平(47期) TEL 080-6576-0504

*同窓会に関するお問い合わせ、ご意見・ご要望は、学校ではなく、鴻陵会連絡所までお願いします。

声

名古屋 茂郎(国語科)

一九九一年より二〇〇〇年まで勤務しました。四十七期生と五十二期生の共に三十八の担任。

五十九年の教員生活にピリオド。国府台退職後二十二年間私立高校で教諭、講師等を行っていました。癌と闘いながら八十二才迄。

元氣ですが癌の手術の後遺症で右腕が上がりにくくなり退職を決意。

お悔やみ

北川 洪才さん(3) 二〇二一年八月没

森 啓一さん(3) 二〇二〇年九月没

石毛(志村) 克子さん(4) 三堀 真由子さん(57) 二〇二〇年五月二十四日没 二〇二〇年末没

佐藤 進さん(4) 八木 利夫さん(葛10) 二〇二〇年末没

西島 秀子さん(4) 和田 好夫先生(英語) 二〇二〇年二月十二日没 父、好夫は平成二十五年(二〇一三年)六月四日に癌で他界致しました。

石井 喜代太さん(5) 和田 先生は、一九六二〇一九年五月没 (子息)

中村(佐藤) 弘子さん(11) 三年から一九七九年まで在職されました。

いきました。(長女)

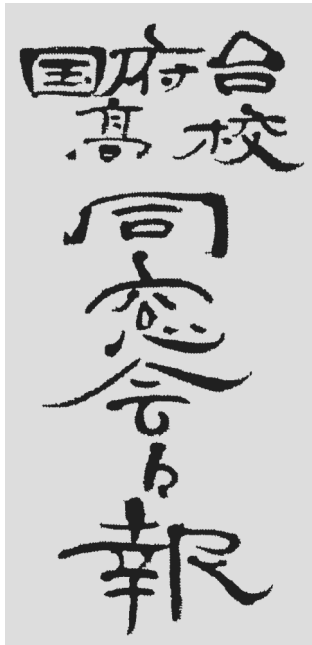
渡辺 充さん(18) 謹んでご冥福をお祈りいたします。

二〇一六年二月十七日没

編集室

二〇二三年の学校創立八十周年に、同窓会は設立七十周年を迎えます。続くコロナ禍で同窓生も参加も、見に行くことさえできず寂しい限りですが、せめて紙面での思いを込めました。

- 委員長 菅田鐵男(9期)
編集長 流川呉生(20期)
委員 井桁美樹子(5期)
竹内喜忠(14期)
池田由紀子(20期)
柴田幸治(20期)
榎本弘良(29期)
飯田幸治(35期)
高橋亮平(47期)
富坂友(56期)



第41号

2022年11月1日発行



歴史と伝統を未来へ 2023年は母校創立80周年

夢を大切に 校長 白井 武彦

アルスの森 子供と大人

2022(令和4)年度 定例総会議事

2021年度会計決算報告 2022年度予算
2021年度事業報告 2022年度事業案

鴻陵会表彰受賞者 第74期卒業生
部活動情報

転出・退職された先生
卒業生の進路状況 2021（令和3）年度

ポスト
いもばんど 40回記念コンサート

思い出 演劇部 64年後の再会
学生時代に思いを馳せて

賛助金
ご協力に感謝！



～ 踏 跡 ～ 歴史の中で踏み出されたステップ これから踏み出されるステップ
国府台高校80年 … 各年代の方に思いを綴っていただきました。

インタビュー
～現役生に訊く、昨年と今年の鴻陵祭～

お元気ですか？ 萩倉 良先生（社会）

お悔やみ
編集室

